

## DOCOMOMO Japan による「日本におけるモダン・ムーブメントの建築300選」に岡山市立オリエント美術館が選定されました

この度、岡山市立オリエント美術館が一般社団法人DOCOMOMO Japanにより「日本におけるモダン・ムーブメントの建築300選」に選定されました。

### 1 DOCOMOMO Japanとは

モダン・ムーブメント(近代運動)の推進に寄与した建築の歴史的、文化的重要性を訴え、その記録と現存建物の保存に関する活動を展開する国際的学術組織「DOCOMOMO」の日本支部組織です。

【DOCOMOMO Japan WEBサイト】 <https://docomomojapan.com/about/>

### 2 日本におけるモダン・ムーブメントの建築300選とは

DOCOMOMO Japanは2000年の発足以来、その重要な活動として「日本におけるモダン・ムーブメントの建築」の代表的作品を選定する作業をしており、これまで計290件の建築をリストアップしています。今回、2024年度に新たに選定された13件の一つとして、岡山市立オリエント美術館が選定されたものです。

【参考】今回選定された作品は別紙のとおり

### 3 選定理由

次の観点で高く評価されました。

#### 1. 技術性

二つの吹き抜けで構成された空間はトップライトからの光の演出が見事で、これら吹き抜けを緩やかに結ぶ壁構成に日本的空間解釈を適用。

#### 2. 社会性

建築家岡田新一が歴史と文化を結ぶ構想の中核を担う建物として構想し、のちの県立美術館(1988年)とともに岡山市中心部の文化拠点「カルチャーゾーン」の契機となった。

#### 3. 文化・審美性

セットバックしながら重層して積み上がる外観は、淡い砂色のタイルと岡山城に呼応する頂部の黒が特徴。展示場内吹き抜けには「光の塔」を創出し「細密」をキーワードにしたオリエント的空間を実現した。

#### 4. 歴史的背景

江上波夫東大教授の提案を契機とする安原眞二郎氏の西アジア各地での収集行為、のちにこれらが岡山市へ寄贈されたことによって、美術館建設へとつながった。

#### 5. 総合評価

建築家岡田新一による初の美術館・博物館作品で、オリエントの風土に着想した「塔」の概念など「抽象と細密」を設計の鍵とした空間構成を実現した。また、現在も岡山カルチャーゾーンの中核として、芸術文化の発信地として機能している点が評価できる。

## 4 その他

---

選定プレートが後日贈呈される予定です。

**【問い合わせ先】**

オリエント美術館 小藤・四角 直通086-232-3636

DOCOMOMO Japan「日本のモダン・ムーブメントの建築」  
2025年発表 選定建築物

種類	選定No.	現在名称	都道府県
新規	291	杉神社	鳥取
新規	292	住宅No.32	大阪
新規	293	山口銀行本店	山口
新規	294	大阪駅前第1・第2・第3・第4ビル	大阪
<b>新規</b>	<b>295</b>	<b>岡山市立オリエント美術館</b>	<b>岡山</b>
新規	296	つくばセンタービル	茨城
新規	297	GAZEBO	神奈川
新規	298	小国町交通センター(ゆうステーション)	熊本
新規	299	COMBLE(コンブレ)	静岡
新規	300	葛西臨海水族園	東京
追加	099	自由学園南沢キャンパス及び南沢学園町 ※追加選定分 羽仁先生記念館	東京
追加	199	国際基督教大学の建築群 ※追加選定分 教員住宅No. 346, 365, 482, 483.	東京
追加	227	代官山ヒルサイドテラス第1期, および第2期 以降, ヒルサイドウエスト ※追加選定分 ヒルサイドテラスアネックスA・B棟	東京